



2022年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年7月13日

上場会社名 株式会社 柿安本店

上場取引所 東

コード番号 2294 URL <https://www.kakiyasuhonten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 赤塚 義弘

TEL 0594-23-5500

四半期報告書提出予定日 2021年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	9,073	30.4	551		598		337	
2021年2月期第1四半期	6,958	35.2	594		589		665	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	32.28	
2021年2月期第1四半期	63.60	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	18,514		14,356			77.5
2021年2月期	18,813		14,800			78.7

(参考)自己資本 2022年2月期第1四半期 14,356百万円 2021年2月期 14,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		75.00	75.00
2022年2月期					
2022年2月期(予想)		0.00		75.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,200		800		800		430		41.07
通期	38,500		2,300		2,300		1,300		124.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年6月1日付で株式会社KHフードサービスを完全子会社として新設分割いたしました。これに伴い2022年2月期第2四半期会計期間より連結決算に移行いたしますが、業績への影響は軽微と想定しており、2021年4月13日に発表しました「2021年2月期決算短信(日本基準)(非連結)」に記載しております業績予想から変更はありません。また、2021年2月期は連結決算を行っておりませんので、対前期増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	12,446,700 株	2021年2月期	12,446,700 株
期末自己株式数	2022年2月期1Q	1,978,841 株	2021年2月期	1,978,841 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	10,467,859 株	2021年2月期1Q	10,467,886 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、経済活動は引き続き抑制され、依然として予断を許さない状況が続いております。新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されるなど前年同時期の緊急事態宣言時と比較すると段階的に軽減しているものの、コロナ禍以前と比較するとまだまだ回復しておらず、当面の間、不透明な状況が続くものと想定されます。

このような環境の中、当社におきましては、本社のある三重県桑名市に位置する和菓子工場「スイーツファクトリー」にて、お値打ち商品をご用意している「柿安工場感謝祭」に加え、「生活応援セール」を定期的で開催するなど、コロナ禍での自家需要に応えるべく、食卓が豊かになるような商品やサービスの強化に注力しました。また、お客様及び従業員への新型コロナウイルス感染症拡大防止を引き続き徹底するとともに、間接部門を中心としたコスト抑制により利益の改善を図りました。

出退店につきましては、9店の退店を行いました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は9,073百万円（前年同期比30.4%増）、営業利益は551百万円（前年同期は594百万円の営業損失）、経常利益は598百万円（前年同期は589百万円の経常損失）、四半期純利益は337百万円（前年同期は665百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

精肉事業につきましては、『柿安の小間きれ』のリニューアルや、『ステーキ切り落とし』『やきにく切り落とし』のブラッシュアップなど、既存商品の強化に取り組み、昨年からのコロナ禍における自家需要ニーズ取り込みを強化しました。

この結果、当事業の売上高は3,669百万円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益309百万円（同8.7%増）となりました。

(b) 惣菜事業

惣菜事業につきましては、好評の『ガーリックローストビーフ』に加え、新商品の『ローストビーフソテー〜香ばし葱オイル〜』や自社製造の『こだわり焼豚』など、主力となりうる商品開発に注力しました。また、人気の『オールスター弁当』は季節の具材を充実させた期間限定品として販売し、好評を得ました。

この結果、当事業の売上高は2,747百万円（前年同期比54.8%増）、セグメント利益は240百万円（前年同期は243百万円のセグメント損失）となりました。

(c) 和菓子事業

和菓子事業につきましては、定番商品をグレードアップした『桜おはぎ極』や、ピスタチオを用いた『新緑おはぎ』や『ハチミツレモンどら焼』などの見た目も鮮やかな商品を提供するなど、プレミアム感のある商品の開発に注力しました。

出退店につきましては、1店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は1,908百万円（前年同期比33.3%増）、セグメント利益は303百万円（同1,721.3%増）となりました。

(d) レストラン事業

レストラン事業につきましては、緊急事態宣言の影響を大きく受け、休業や営業時間短縮により、業績に大きく影響しました。

出退店につきましては、事業構造改革の一環として不採算店7店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は514百万円（前年同期比65.2%増）、セグメント損失は93百万円（前年同期は389百万円のセグメント損失）となりました。

(e) 食品事業

食品事業につきましては、人気の『ビーフカレー』『豚角煮カレー』などのカレーレトルトシリーズをリニューアルするとともに、高品質商品の『松阪牛カレー』など、自家需要商品の強化に取り組みました。

出退店につきましては、1店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は233百万円（前年同期比30.0%増）、セグメント利益は20百万円（前年同期は25百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ298百万円減少し、18,514百万円となりました。

流動資産は88百万円減少し、11,547百万円となりました。主な要因は、売掛金の減少348百万円と現金及び預金の増加327百万円等であります。固定資産は210百万円減少し、6,967百万円となりました。主な要因は、繰延税金資産の減少58百万円及び差入保証金の減少57百万円等であります。

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ144百万円増加し、4,157百万円となりました。

流動負債は171百万円増加し、3,651百万円となりました。主な要因は、未払消費税等の増加245百万円と未払法人税等の減少142百万円等であります。固定負債は27百万円減少し、506百万円となりました。主な要因は、資産除去債務の減少26百万円等であります。

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ443百万円減少し、14,356百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少447百万円等であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2021年4月13日に公表いたしました「会社分割（簡易新設分割）による子会社設立に関するお知らせ」のとおり、2021年6月1日付で株式会社KHフードサービスを完全子会社として新設分割いたしました。これに伴い2022年2月期第2四半期会計期間より連結決算に移行いたします。

尚、会社分割（簡易新設分割）による業績への影響は軽微と想定しており、2021年4月13日に発表しました「2021年2月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載しております予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,017	8,344
売掛金	2,820	2,471
商品及び製品	300	294
仕掛品	176	219
原材料及び貯蔵品	156	141
その他	165	76
流動資産合計	11,635	11,547
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,463	2,419
土地	2,224	2,224
その他(純額)	635	589
有形固定資産合計	5,323	5,234
無形固定資産	253	243
投資その他の資産	1,600	1,489
固定資産合計	7,178	6,967
資産合計	18,813	18,514
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,206	1,196
未払法人税等	352	209
賞与引当金	352	509
役員賞与引当金	17	7
その他	1,550	1,728
流動負債合計	3,479	3,651
固定負債		
資産除去債務	460	434
その他	73	72
固定負債合計	534	506
負債合計	4,013	4,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269	1,269
資本剰余金	1,074	1,074
利益剰余金	16,039	15,592
自己株式	△3,542	△3,542
株主資本合計	14,840	14,393
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△40	△36
評価・換算差額等合計	△40	△36
純資産合計	14,800	14,356
負債純資産合計	18,813	18,514

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	6,958	9,073
売上原価	3,741	4,358
売上総利益	3,216	4,714
販売費及び一般管理費	3,811	4,163
営業利益又は営業損失(△)	△594	551
営業外収益		
受取利息	0	0
受取給付金	-	43
その他	6	5
営業外収益合計	6	48
営業外費用		
その他	1	1
営業外費用合計	1	1
経常利益又は経常損失(△)	△589	598
特別損失		
固定資産除売却損	3	10
減損損失	98	-
店舗閉鎖損失	125	26
その他	54	0
特別損失合計	281	38
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△871	560
法人税、住民税及び事業税	32	163
法人税等調整額	△238	58
法人税等合計	△205	222
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△665	337

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,261	1,774	1,431	311	179	6,958	—	6,958	—	6,958
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	188	1	8	0	128	328	—	328	△328	—
計	3,449	1,776	1,440	311	307	7,286	—	7,286	△328	6,958
セグメント利益 又は損失(△)	284	△243	16	△389	△25	△358	—	△358	△236	△594

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等でありま
す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△236百万円には、各報告セグメントに配分していない全
社費用△245百万円及びその他調整額9百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグ
メントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行って
おります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「惣菜事業」及び「レストラン事業」において、店舗設備の減損損失をそれぞれ2百万円、95百万円計上
しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期累計期間において、98百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,669	2,747	1,908	514	233	9,073	—	9,073	—	9,073
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	322	2	7	0	216	549	—	549	△549	—
計	3,992	2,749	1,916	514	449	9,622	—	9,622	△549	9,073
セグメント利益 又は損失(△)	309	240	303	△93	20	779	—	779	△228	551

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等でありま
す。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△228百万円には、各報告セグメントに配分していない全
社費用△240百万円及びその他調整額11百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグ
メントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行って
おります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。